

観光地アメニティによる地域活性化への路 —マーケティングからの提言—



観光による地域活性化を考えると、具体的に取り組むべき課題は、知床のような自然環境に恵まれた観光地、札幌市のような都市型の観光地、ニセコのようなリゾート型観光地など、地域ごとに異なります。このシンポジウムでは、多くの観光客を惹き付け、地域活性化に貢献された実務家のお二人と、観光市場をマーケティング理論によって実証的に分析してこられた研究者のお二人をお招きし、北海道のそれぞれの地域が自らを活性化させ、観光産業のリーダーとなるためには何をすべきかについて、お話していただきます。

【プログラム】

[会場] 北海道大学 クラーク会館 講堂(札幌市北区北8条西8丁目)

[日時] 11月21日(木) 13時40分より17時10分(13時開場)

[講演] 基調講演 神戸大学名誉教授、北海学園特任教授 田村 正紀

「観光地振興の決め手は何か—アメニティ・ミックスに注目せよ—」

講演 高知県馬路村農業協同組合 代表理事組合長 東谷 望史

「ゆずの村の産直が村へ人を呼ぶ—1,000人の村の観光振興—」

講演 星野リゾート・トマム 総支配人 佐藤 大介

「変革の現場から知る観光産業の現実と可能性」

提言 北海道大学大学院経済学研究科教授 坂川 裕司

「観光アメニティからみた北海道観光の今と未来」

参加自由・無料

[パネルディスカッション]

パネリスト 東谷 望史, 佐藤 大介, 田村 正紀

コーディネーター 坂川 裕司



詳しくは地域経済経営ネットワーク研究センターのHP (<http://rebn.econ.hokudai.ac.jp/eventinfo>) をご覧下さい。